

学 校 名	山形市立第二中学校 山形市西崎 TEL 023-644-3902 FAX 023-644	校 長	高 野 修 司
		研究主任	桑 原 武 夫
研 究 主 題	<p style="text-align: center;"><b>創造的で探求心のある生徒を育てる指導</b></p> <p style="text-align: center;">～生徒の学ぶ力を育てる指導の工夫を通して～ （４年次）</p>		
研 究 の 目 指 す 生 徒 像	<p>主題設定の理由</p> <p>昨年度から完全実施となった新指導要領に伴い、選択学習の拡大や総合的学習の時間の新設など、大幅に教育課程が変更された。それに併せて、発展的な学習や自ら課題を見つけそれを追求する活動に意欲的に取り組める生徒の育成が重要になってきた。発展的な学習に十分に取り組むためには、これまで以上に必修教科の基礎基本の充実を図っていかなくてはならない。</p> <p>これまでの研究により、「意欲的に学習する雰囲気づくり」を通して講じてきたさまざまな手だてが概ね有効であることがわかった。特に昨年度は「意欲的に学習する雰囲気づくり」と密接な関わりのある「学級集団づくり」について、事例研究会や教科指導との関わりについて研究してきた。また昨年度から評価が絶対評価に変わったことから、授業の中での自己評価のあり方についても、各教科ごとにさまざまな取り組みを行った。それぞれの成果や課題については割愛するものの、三年間取り組んできた意欲的に学習する雰囲気づくりの取り組みについては、学級指導や他教科との連携が重要であることが確かめられた。しかし、雰囲気づくりから一歩進んで、生徒どうしが活発に関わりながらお互いに高め合う点については十分とは言えない。これを受けて、今年度は「個と全体の学習の確立」についてさらに研究を深めていきたいと考え、本主題を設定した。</p> <p>全体研究仮説</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">生き生きと学習させる実践を通して、達成感を持たせながら、安心して学ぶ雰囲気のある人間関係づくりをし、学習を振り返ることの習慣を身につけさせることができれば、「学ぶ力」が育まれていくであろう。</p> </div> <p>目指す生徒像</p> <p>『創造的で探求心のある生徒』</p> <p>明るく意欲的に学習に取り組む生徒</p> <p>目標、見通しを持って学習に取り組む生徒</p> <p>問題解決の際に、既に学んでいることを活用したり、情報を他から得たりして解決していこうとする生徒（他の生徒との交流）、思考を高め合うことのできる生徒</p>		

研究の見通し（5年計画）

研究

三年次は教科指導を中心に「学級集団づくり」と「評価のあり方」についての研究を行った。本年度はさらに研究を進め、互いに高め合う学習集団をつくり、教科指導の中で主体的に学習する生徒を育てていく指導のあり方を研究していきたいと考えている。これに取り組みながら個と全体の学習の確立について研究を深めていきたい。また、昨年度取り組んだ評価の規準や基準、そのあり方についても教科間の交流を図りながら、資料の蓄積を進めていきたい。

内容

- 1～3年次 意欲的に学習する雰囲気づくり
  - ・学ぶ雰囲気のある人間関係づくり
  - ・自己決定の場を作る
- 4年次 個と全体の学習の確立
  - ・互いに高め合う学習集団づくり
- 5年次 自ら目標、見通しを持って計画的に学習に取り組む態度づくり

方法

研究の内容と方法（4年次）

<主な内容>

- (1)生き生きと意欲的に学習させる場や指導のあり方。
- (2)他の生徒と協力し、互いに高め合いながら学ぶ場や指導のあり方。
- (3)自己評価等を通して学習を振り返らせる場や指導のあり方。

<方法>

- (1)生徒に存在感を与える手だてを計画的に実践し、互いに高め合う場や方法を研究していく。
- (2)全体研究仮説をふまえ、各教科の仮説を設定し、具体的実践を通して仮説の検証を図っていく。

各教科ごとに目指す生徒像を明確にした上で、上記(1)～(3)の内容に取り組んでいく。その結果、どれだけ近づいたかを「成果と課題」という形で研究仮説の検証を行う。また、評価のあり方について共通の認識が持てるよう、授業研究会等を通して教科間の交流を図る。

研究の計画

- |        |              |                                  |
|--------|--------------|----------------------------------|
| 5月     | 職員会議         | ・本年度の研究の概要について                   |
| 6月     | 全体研究会        | ・各教科の研究のあり方、評価のあり方について           |
| 7月     | 1学期反省職員会議    | ・各教科の研究の進め方、評価のあり方の確認<br>指導案の書き方 |
| 9月     | 全体授業研究会及び事後研 | ・教科授業研究会の授業者、単元・時期の決定            |
| 9月～12月 | 教科授業研究会      | ・本年度の研究を意識した提案授業（英）              |
| 11月    | 教科授業交流仲間     | ・各教科2回程度（数学、理科はTTで）              |
| 12月    | 全体研究会        | ・他教科の授業を参観し、簡単なコメントを授業者へ         |
| 2月中旬   | 研究紀要原稿提出     | ・教科授業研究会のまとめ                     |
| 3月     | 研究紀要の発刊      |                                  |
| 3月     | 全体研究会        | ・平成15年度の研究のまとめ                   |